

産業構造審議会容器包装リサイクルワーキンググループ
中央環境審議会容器包装の3R推進に関する小委員会
合同会合(平成25年10月29日)

容器包装リサイクル法

～ 自治体から見た「課題」～

横浜市

横浜市『一般廃棄物処理計画』（変遷）

○平成15年～22年 「ヨコハマG30プラン」

目標

平成22年度の「燃やすごみ量」を
平成13年度比 **30%削減**



43.2%削減 (H22末)

家庭系 ▲ 35.5%

事業系 ▲ 53.8%

<分別区分> 5分別 7品目 ⇒ **10分別 15品目**



容器包装

～現在～

スリム

○平成22年～37年

「ヨコハマ3R夢プラン」

推進中！

目標

- ① 「ごみ」と「資源」の「総量」を
平成37年度までに(21年度比) 10%削減
- ② ごみ処理に伴い発生する「温室効果ガス」を
平成37年度までに(21年度比) 50%削減

基本理念

環境に最も優しい リデュース(発生抑制) の取組を進め、
「環境負荷の低減」 と 「健全な財政運営」
が両立した「持続可能なまち」を実現

容器包装リサイクル推進に向けた 主な取組

1 効果的な啓発事業

- ・毎年3万人超の市外からの転入者
- ・環境学習(出前講座等)の拡充



2 民間活力の活用

- ・民間委託等の推進



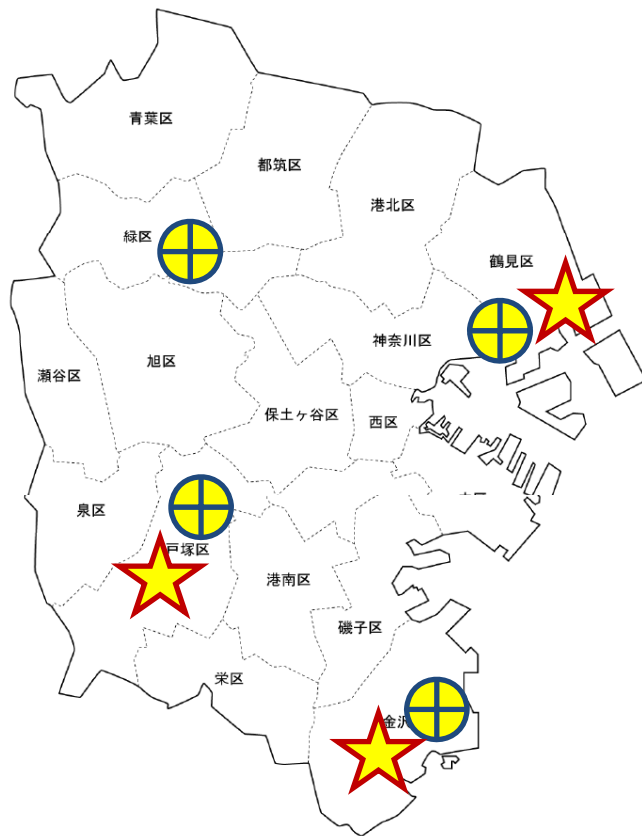
*「缶・びん・ペットボトル」、「プラ製容器包装」の
収集運搬業務を全て民間委託

* 毎年競争入札を実施

*「古紙」の回収を100%資源集団回収に移行 (H25年度)

容器包装リサイクル推進に向けた 主な取組

3 「選別・保管施設」の整備・運営



⊕ 資源選別センター 4か所

- ・缶 (スチール・アルミ)
- ・びん (無色・茶色・その他)
- ・ペットボトル

* 公設 & 管理運営委託(公社・民間)

★ プラスチック製容器包装 中間処理施設 3か所

* 民間施設(委託)

『課題1』 分かりにくい「プラスチック製容器包装」

① よくある質問

- ・「プラスチック製品」と「プラスチック製容器包装」の違いがわからない
- ・プラ容器はどの程度きれいに洗えばいいの？
- ・プラ容器の値段シールが剥がれない、どうしたらいいの？

② 間違えやすいもの

商品そのもの



おもちゃ



ビデオテープ



ハンガー



洗面器・バケツ

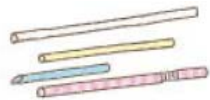


コンパクトディスク（ケースも含む）



使い捨てライター

商品の付属品



飲料パックのストロー



弁当のスプーン・フォーク



洗濯用洗剤の計量スプーン

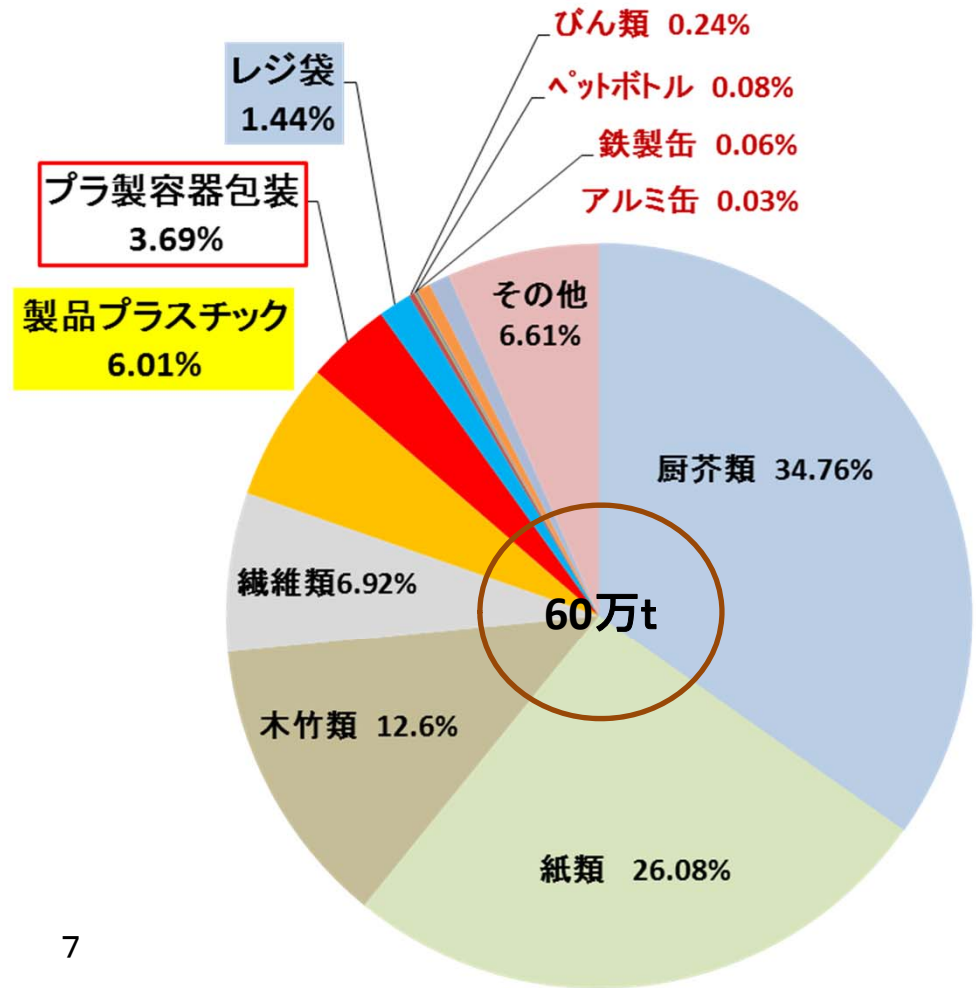
『課題1』 分かりにくい「プラスチック製容器包装」

* 他の容器包装に比べて、分別率が低い『プラ製容器包装』

① 容器包装の分別収集量 (H24横浜市)



② 燃やすごみの組成 (H24横浜市 家庭ごみ)

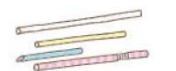


1 「分かりにくさの解消」に向けて

(1) プラ製容器包装の「ガイドライン」の見直し

容器包装と間違えやすいプラ製品は、分別対象となるようガイドラインを見直す。

商品の付属品



飲料パックのストロー



弁当のスプーン・フォーク



洗濯用洗剤の計量スプーン

(2) 「製品プラスチック」のリサイクル推進

プラ製容器包装の分別が進まない背景のひとつとして、「製品プラスチック」が分別対象でないことがあるため、事業者にはリサイクルを義務づける。



おもちゃ



ビデオテープ



ハンガー



洗面器・バケツ



コンパクトディスク（ケースも含む）

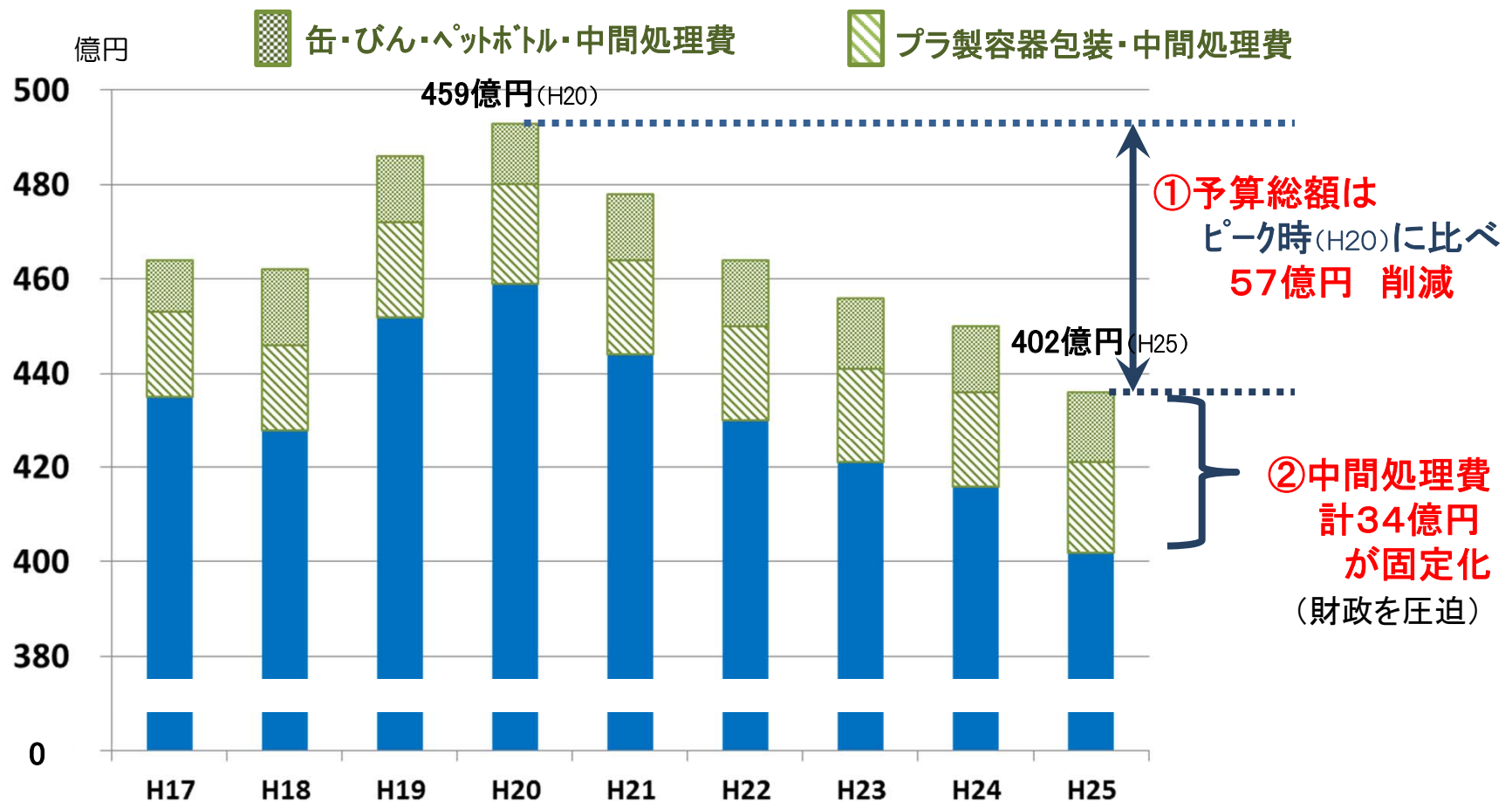


使い捨てライター

『課題2』 自治体の負担が多い現行制度

<例> 「局予算(当初)総額」と「選別保管(中間処理)経費」の推移

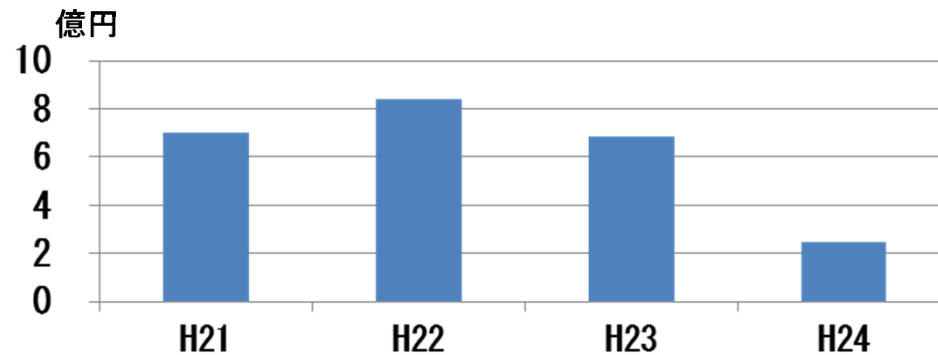
(横浜市資源循環局)



『参考』

再商品化合理化拠出金

① 合理化拠出金の推移 (横浜市)



H21	6億9千万円
H22	8億4千万円
H23	6億8千万円
H24	2億4千万円

② 受け入れ(歳入)

毎年、資源循環局の当初予算に計上している。

③ 用途

「分別リサイクル推進事業」に充当している。

2 自治体の負担軽減に向けて

(1) 自治体と事業者の経費を含めた役割分担

自治体に負担のかかる現行制度を改め、収集運搬及び圧縮・梱包等の中間処理に係る経費について、事業者に一定の負担を課す。

(2) 再商品化経費の免除事業者分の扱い

自治体の負担から、事業者の負担に変更する。

以上